

自分スタイルの確立！ 通信制

可能性への挑戦！ 全日制

2026.01.30

18歳成人おめでとう！

正解のない問いへ、自らの翼で。「飛翔式」開催
～敬愛大学八日市場高等学校 3学年、18歳の決意と旅立ち～

令和8年1月29日(木)、匝瑳市市民ふれあいセンター大ホールにて、敬愛大学八日市場高等学校の「飛翔式(18歳成人式)」が挙行了されました。

本式典は、18歳という人生の節目を迎えた生徒たちが、社会の一員としての自覚を高め、その門出を祝福することを目的としています。

今年度のテーマは「自主自律」と「貢献報恩」。厳粛な雰囲気の中、生徒たちは自らの手で未来を切り拓く決意を新たにしました。

「正解」のない世界へ

式辞に立った森本校長は、まず昨年11月の記念行事「スカイランタン」に込められた生徒たちの願いを称えました。

続いてRADWIMPSの楽曲『正解』を引用し、「これからの人生という『巨大な問い』に、あらかじめ用意された正解はない」と語りかけました。

自身の大学時代の留年や就職浪人といった「回り道」を例に挙げ、「当時の焦りや挫折も含めて、今の私を作る大切な『正解』の一部だった」と披露。迷った時の羅針盤として建学の精神「敬天愛人」と校歌を示し、「失敗を恐れず、遠回りをしてもいい。自らの情熱で広い世界へ羽ばたき、自分だけの正解を選び取ってほしい」と力強いエールを送りました。



夢と友情を胸に、未来へ

来賓の宮内康幸匝瑳市長は、最上級生として学校生活を牽引してきた生徒たちの姿勢を称え、高校で育んだ「同志としての強い友情」を今後も大切にしてほしいと語りかけました。

また、吉田松陰の「夢なき者に成功なし」を引用し、夢を持つことが未来を切り拓く原動力になると強調。

AI技術の進展など変化の激しい現代社会において、若い世代の柔軟な発想と行動力が不可欠であるとし、「失敗を恐れず、果敢に挑戦してほしい」と、新たな社会の担い手となる生徒たちの前途を祝福しました。

誓い、そして自覚

新成人を代表し、砂村実行委員長が「誓いの言葉」を述べました。

砂村実行委員長は、これまでの道のりが決して順風満帆ではなく、葛藤や将来への不安に押しつぶされそうになった日々があったことを率直に語りました。

しかし、常に傍らには励まし合える友や、黙って見守ってくれる家族の存在があったとし、周囲の支えへの深い感謝を伝えました。その上で、**成人としての覚悟を「自主自律」という言葉に込めました。**

「成人とは単に権利を得ることではなく、自らの意志で道を選び取り、その結果に責任を持つことだ」と述べ、自由の裏側にある責任の重みを真摯に受け止める姿勢を示しました。

また、受けた恩を社会や次の世代へと送る「恩送り」の実践を誓い、自分自身の幸せだけでなく、**地域社会へ貢献できる大人として歩いていく決意を力強く宣誓しました。**



生徒たちが作り上げた「飛翔式」

本式典の**最大の特徴は、企画から運営までを生徒たち自身の手で作り上げた点にあります。**

式典終了後のインタビューで、砂村実行委員長は「先生方はあえて干渉せず、あくまで自分たちの力で進める行事だった」と、その自主性を強調しました。

準備期間は約1年。当初は委員長としての自覚がなかなか持てず、人をまとめる難しさや自身の力不足に直面したといいます。しかし、3年間で共に過ごした仲間たちが積極的に協力してくれたことで、その壁を乗り越えることができました。

「将来は人を引っ張り、多くの人から憧れられるような存在になりたい」。この経験で培ったリーダーシップを武器に、次のステージでも活躍したいと語るその言葉には、大役を果たした者だけが持つ、確かな自信が満ち溢れていました。

※ 左写真は、スカイランタン打ち上げイベントの様子

